

## 令和元年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

山本 研究室	氏 名	新 美 航 太 郎
卒業研究題目	モバイルアプリのユーザレビューの調査と計算機支援による分類	
<p>モバイルアプリのユーザーレビューは開発者、ユーザーの双方に関心のあるものでありレビューの分類や分析を行う調査が盛んに行われている。過去の研究ではユーザーレビューは主に機能要求、バグ報告、ユーザーエクスペリエンス、単純な賞賛として分類がされているがアプリケーションの多様化に伴い従来の分類手法では分類が難しいレビューが存在することが予想される。</p> <p>本研究ではユーザーレビューが実際にどのように分類することができるかを調査(調査1)、その結果から特定の分類のユーザーレビューを計算機支援のもとで抽出を行なった(調査2)。</p> <p>調査1ではモバイルアプリの代表として YouTube を選出し、GooglePlayStore から取得した 500 件のレビューについてトピックごとに目視で分類を行った。500 件のレビューは従来の機能要求やバグ報告に加え、アプリケーション内に設置される広告に対して言及するレビューや他のユーザーによる投稿コンテンツや他のユーザーの言動に言及するレビュー、サービス規約に言及するレビューなどに分類することができた。他ユーザーに対して言及するレビューはアプリケーションやレビューワーによって内容が様々であり、開発者による予測やコントロールが難しいことから調査2では他ユーザーへの言及を含むレビューの抽出と分析を行うこととした。</p> <p>調査2ではユーザーの交流が前提とされているアプリケーションとユーザーの交流が存在しないアプリケーションを選出し、レビューに用いられている単語の出現回数を比較することで他ユーザーに言及するレビューに用いられると推測される特徴語の選出した。そして選出した特徴語を含むレビューを抽出し適合率、再現率、F 値の計算によってその抽出精度の評価を行った。選出した 66 の特徴語を元に全 7500 件から他ユーザーに言及するレビューの抽出を行った結果、アプリケーションやレーティング、特徴語によって抽出精度や該当件数にはばらつきが見られるがどのアプリケーションにも他ユーザーに言及するレビューは確かに存在しており、手法の改善や適切な分析を行うことでレビューやレーティングの改善を支援することが可能であると考えられる。</p>		